

<ごあいさつ>

この度は、<2次セミナー>(3.0)のDVDセットにお申込みいただきまして、誠にありがとうございました。

本資料およびDVDを最大限有効活用するために、下記に留意してご利用ください。

記

- ①DVDをご覧になる時は、必ず、資料と赤いボールペンをお手元においてご覧ください。
- ②私が、「下線を引いてください」とか「クルッとマル」と言った箇所は重要なところですので、必ず、印を付けてください。復習の時に役立ちます。
- ③事前の予習、または、復習の時に、資料の語句に付けたハイパーリンクを最大限活用して、より深い学習にお役立てください。
- ④誤字、脱字、その他、何かお気づきの点がございましたら、至急、ご連絡ください。

●お願い

DVD、資料のご感想を是非お聞かせください。

件名:<2次セミナー>(3.0)(感想)(氏名)

宛先:info@hello.ac

皆様のご健闘を心よりお祈り申し上げます。



ありえへんサービスを提供する
ハロー通訳アカデミー
学院長
植山源一郎

2018年度全国通訳案内士試験
第2次口述試験対策〈特別セミナー〉資料



ありえへんサービスを提供する
ハロー通訳アカデミー
植山源一郎

目次

<第1部> 基本情報

| | |
|-----------------------------------|----|
| 【1】 合格必勝の心構え..... | 1 |
| 【2】 改正通訳案内士法と第2次口述試験..... | 3 |
| 【3】 改正通訳案内士法の概要..... | 3 |
| 【4】 JTBグループが、試験事業から撤退..... | 4 |
| 【5】 日本出版販売株式会社..... | 4 |
| 【6】 2018年度第2次口述試験ガイドライン(2.0)..... | 5 |
| 【7】 「外国語訳+質疑」が試験のヤマになる..... | 7 |
| 【8】 「通訳案内の現場」で想定される質問と回答..... | 10 |
| 【9】 通訳案内の現場で必要とされるトラブル対応法..... | 16 |
| 【10】 「ガイドライン」は絶対か..... | 17 |

<第2部> 試験方法・合否判定

| | |
|----------------------------|----|
| 【11】 第2次口述試験の試験方法..... | 19 |
| 【12】 採点及び合否判定..... | 20 |
| 【13】 第2次口述試験会場..... | 21 |
| 【14】 2017年度第2次口述試験の実際..... | 22 |

<第3部> 出題分析

| | |
|--------------------------------------|----|
| 【15】 2013年度～2017年度の問題の種類と数..... | 24 |
| 【16】 2013年度～2017年度の時間帯別問題..... | 25 |
| 【17】 2013年度～2017年度の出題分析..... | 36 |
| 【18】 分野別出題項目..... | 37 |
| 【19】 「日本の事象英文説明 300選」からの出題(その1)..... | 40 |
| 【20】 「日本の事象英文説明300選」からの出題(その2)..... | 41 |

<第4部> 対策・予想問題

| | |
|-----------------------------------|----|
| 【21】 通訳メモの取り方..... | 44 |
| 【22】 <外国語訳><プレゼンテーション>予想問題..... | 48 |
| 【23】 <プレゼンテーション>対策..... | 55 |
| 【24】 答の分からない質問に対する対処法..... | 59 |
| 【25】 話に詰まってしまった時の4段階対処法..... | 60 |
| 【26】 <プレゼンテーション>例題の回答のまとめ方..... | 62 |
| 【27】 <プレゼンテーション>予想問題の回答のまとめ方..... | 65 |
| 【28】 <質疑><質疑応答>予想問題..... | 68 |

【24】答の分からない質問に対する対処法（重要！）

実際に通訳ガイドの仕事をしている時に、通訳ガイドは、外人旅行者から「**想定外の質問**」を多々されるわけですが、そこをどのように**臨機応変に対応**するのか、が通訳ガイドの適性として重要なので、評価項目に**コミュニケーション(臨機応変な対応力、会話継続への意欲等)**が入っているのです。

場合により、「**答の分からない質問に対して、いかに臨機応変に対応できたか**」が、合否を決めることもあると思いますので、対処法を知っておくことは重要です。

【1】臨機応変な対応力

(1)「富士山の価格はいくらですか」“How much is Mt. Fuji?”

例えば、とてもお金持ちの旅行者が、富士山を気に入ったので、「富士山の価格はいくらですか」と聞いたとしましょう。

通訳ガイドが、「知りません」“I don't know.”と答えるだけでは失格です。

ここは、ユーモアをこめて、「残念ながら、富士山は今売り出していません」を答えれば、通訳ガイドとして満点です。“I am sorry, but Mt. Fuji is not on sale now.”

(2) 質問のキーワードが分からないとき

キーワードが分からないと回答のしようがありません。

その時は、「○○○はどういう意味ですか」、または、「質問をもっと分かりやすい言葉で言ってください」、などと言って質問してください。**沈黙だけは絶対に避けてください。**

沈黙は、あなたが、臨機応変な対応力がないことを証明するだけです。**即ち不合格となります。**分からなければ、聞く、ことです。

(3) 何回聞いても依然として答が分からないときはどうするか？

その時は、仕方がないですから、「**残念ながら、ご質問の内容にはお答えできません。(試験の後で調べてみたいと思います。いづれにしてもご質問有難うございました。**」(国会答弁と同じ)と言って逃げるしかないでしょう。

“I am sorry but I can't answer your question. I will check it out later. Thank you very much for your asking the question anyway.”

但し、その際は、元気に大きな声で熱意を込めて言うことです。転んでもただでは起きない精神です！沈黙して下を向いていたら確実に不合格ですが、上記のようにかわせば、他の質問で良い答が言えれば十分に合格の可能性はあると思います。